

2018年度(平成30年度)「自ら考え学ぶ授業づくり」アクションプラン

〈学校用〉

校番(63)番 福山市立明王台小学校

1 育成する力(21世紀型“スキル&倫理観”)

育成する21世紀型“スキル&倫理観”	主体的に学ぶ力	思考力	表現力	他者と関わる力
めざす子ども像(21世紀型“スキル&倫理観”を身に付けた児童の姿)	生活体験や既習事項を基に、調べたり考えたりするなど、継続して新たな課題を見つげようとしている。	より良い解決に向け、目的や意図に応じて論理的に考えようとしている。	必要な情報を整理し、論理的に話したり書いたりするなどして、自分の考えを表現しようとしている。	初めて出会う考えにも耳を傾け、目標達成に向けて、共感しながら互いに学び合おうとしている。

2 授業の現状

○授業展開の中に考える場面や書く活動を取り入れたことで、理由をつけて発言する児童が増えた。
▲児童が考えをまとめて書くことや、授業で考えを練り合い深めていくための学習内容・発問の工夫が必要である。

転換

3 めざす授業の姿

・主体的な学びとなるよう、板書計画を立て授業の工夫を行っている。【主】
・自分の考えをまとめて書く時間や考えたことを練り合う場面を確保し、手立てが設定されている。【思】【表】
・グループやペア等の活動を通して、他者と関わり合う場面が設定されている。【他】

4 めざす授業に向けた取組の具体

4月からの取組	8月末の状況	9月からの取組	12月末の状況	1月からの取組	2月末の状況
<ul style="list-style-type: none"> 教材研究による構造的な板書を作成し、発問・指示の精選 根拠をもとにした、考える場面・書く活動の設定 関わり合う場面・表現する場面の設定 					

5 取組の結果等

数値は2017年(H29年)調査等の状況

全国学力・学習状況調査(%)

	A問題	B問題
国語	77(0)	54(-7)
算数	85(+4)	47(0)

()は県平均との差

「基礎・基本」定着状況調査(%)

	タイプⅠ	タイプⅡ
国語	72.5(+1)	51.1(-1.3)
算数	76.1(-1)	73.0(+7.6)
理科	75.1(+4.7)	46.9(-4.1)

体力づくり改善計画【広島県体力・運動能力調査から】

県平均以上項目数	前回目標値に対する結果	重点課題	改善する取組内容・方法
(男子) 31/48	「長座体前屈」「50m走」において、県平均かつ全国平均を下回る学年が多かった。	長座体前屈	・体育科授業始まりに、柔軟運動を取り入れる。 ・「柔軟強化週間」を設け、家庭でも取り組みを進める。
(女子) 40/48			
目標値	・「長座体前屈」において、県平均と比べ66%(8/12項目)以上にする。 ・新体力テストの総合評価のAB率を65%以上、ED率を11%以下にする。		

「基礎・基本」定着状況調査〈児童質問紙調査〉(%)

内容	国語		算数		理科	
	よく	やや	よく	やや	よく	やや
授業が分かる	45.3	38.5	55.1	28.6	58.0	29.9
学校が楽しい	88.7					

福山100NEN教育アンケート[対象:授業者](%)

質問項目	よく	当てはまる
仕事にやりがいを感じている	25.0	62.5
仕事に充実感がある	12.5	62.5

児童生徒アンケート(%)

質問項目	(7)月実施予定	
	当てはまる	少し
授業で考えることが面白い		
自分の考えは、認められている		

暴力行為発生率・不登校児童出現率 (%)

(3)月末現在

暴力行為	0	不登校	0
------	---	-----	---